

SOGI後のサポート

葬儀が終わると、その直後から法手続きや個人の供養、交際上などのさまざまな行事が必要となってきます。しかし、日頃は縁のないこともあって戸惑うことも多いのではないのでしょうか。そこで、葬儀に欠くことのできない様々な事柄についてご相談をお受けし、その手配やお手伝いをいたします。

初七日	7日目 (葬儀当日に行なわれることが多い)	遺族、親族、友人、知人などが参列。 僧侶による読経のあと、一同で焼香・会食。
四十九日	49日目	遺族、親族、友人、知人などが参列。 僧侶による読経のあと、一同で焼香・会食（お斎）。 ※この日が忌明けとされる。 本位牌を仏壇に納め、白木の位牌を菩提寺に納める。 ※この日に納骨するケースが多い。
一周忌	満1年目	遺族、親族、友人、知人などが参列。 僧侶による読経のあと、一同で焼香・会食（お斎）。
三回忌	満2年目	遺族、親族、友人、知人などが参列。 僧侶による読経のあと、一同で焼香・会食（お斎）。
七回忌	満6年目	一般的に遺族、親族で供養。 七回忌の頃から、法要の規模を縮小。
十三回忌	満12年目	遺族だけで供養するのが一般的。
十七回忌	満16年目	遺族だけで供養するのが一般的。 省略する場合もある。
二十三回忌	満22年目	遺族だけで供養するのが一般的。 省略する場合もある。
二十七回忌	満26年目	遺族だけで供養するのが一般的。 省略する場合もある。
三十三回忌	満32年目	遺族だけで供養するのが一般的。 ※三十三回忌は弔い上げ（とむらいあげ）とも言われます。仏教では死者は33年目にはどんな人でも無罪になって極楽浄土に行くと言われていました。 地方によっては、五十回忌をもって弔い上げとする地方もあります。

「向日葵の会」がお手伝いできること

ひまわり

初七日・精進落とし・後飾り

- 式場での繰り上げ初七日の法要。
当社スタッフが追加分料理などの手配、あいさつ、献杯の進行を行います。
- 自宅にて後飾り、生花などの移動・設営をいたします。
- ご精算のご案内をさせていただきます。

四十九日・一周忌

- 法事・法要に各宗派の僧侶を派遣、当社スタッフが進行を行います。
- 本位牌のご用意や忌明け礼状、後返しの手配もお手伝いもいたします。
- 僧侶は遺品のご供養をし、真心をこめて整理させていただきます。